新「認知症ドック」のご案内

認知症は中高年になると誰もが頭をよぎる将来の健康不安の一つです。
認知症の原因となる病気は多様で、診断の容易な疾患から原因不明の認知症まで様々ですが、その診断の医学はまさに日進月歩です。
認知症の約６割を占めるアルツハイマー病を中心に、最新の医学的知見に基づき、体に御負担のない健診検査で行う認知症検査(6 項目セット)がご利用いただけるようになりました。

＊尚、このドックで適正評価の出来る対象年齢は 50 歳以上の方です

● **認知症ドック**
40,000 円（税抜）44,000 円（税込）

検査内容　1)~６）

1)　認知障害に関する問診票　(事前書面問診)
認知症の原因となりうる内科疾患や服薬の確認、および御自宅での感情変化など BPSD（日常生活での問題症状）有無の確認をします。

2)　基本的記銘力検査：簡易知能評価スケールでの問診検査
もっとも基本的な記銘力検査です。

3)　最新の血液検査で分析する認知症予備軍（MCI（エムシーアイ）プラス）検査

現在アルツハイマー病の主因がアミロイドベータ蛋白と言われています。
アミロイドベータを脳内から排除するたんぱく質と認知症発症のきっかけとなる
生活習慣病に関与するたんぱく質を解析し、認知症予防の生活指標を御報告します。

4) MRI/MRA 画像検査
脳萎縮の程度や脳血管性認知症・治療可能な認知症（正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫など）の診断が確実にできます。

5) VSRAD（ブイエスラド）（advance2）によるアルツハイマー病とレビー小体型認知症の検査

MRI 画像データをコンピュータ解析して、海馬などの脳内特殊部位の萎縮が、加齢によるものか、アルツハイマー初期の可能性があるかを知ることが出来ます。

6)　脳神経系専門医　との面談による総合結果説明

2024.11.16.作成

血液検査で 認知症予備軍（MCI）の診断が可能になりました

立川中央病院附属健康クリニック　平成 28 年 6 月

現在認知症の方は 460 万人、2025 年には 700 万人に達すると言われています。さらに MCI と呼ばれる認知症予備軍（軽度認知障害）の方が現在 400 万人おられ、65 歳以上での有病率は 13%以上と言われています。**MCI と診断された方の約 10%が 1 年以内に認知症に進行します。**
認知症の多くがアルツハイマー病が原因です。アルツハイマー病に移行する前の MCI の状態か否か、そのリスクが血液検査で分かるようになりました。

2022 年度より リニューアル！！

最新の血液検査で分析する認知症予備軍（MCI プラス）検査

料金　　23,000 円（税抜）　25,300 円（税込）

現在アルツハイマー病の主因がアミロイドベータ蛋白と言われています。
このアミロイドベータ蛋白の測定と生活習慣病発現に関わるたんぱく質を同時測定し、認知症予防の具体的な生活指標が明示されることになりました。
5ml の採血、約 3 週間で結果が出ます。
結果は 4 段階評価され、かつ年齢層に応じた生活改善留意点が示されます。

＊対象：物忘れが気になる方、御家族から変化を指摘される方、生活習慣病の多い方など 40 歳以上の方

この検査は筑波大学を中心とするグループで開発され、2015 年 6 月以降全国多くの医療施設で検査が受けられるようになりました。同年 7 月の週刊誌や科学雑誌ニュートン 2016 年 1 月号にも大きく紹介されています。

上記の採血による認知症予備軍検査は、以下の方法で当クリニックにてお受けになることができます。
1）「認知症ドック」の中に認知症予備軍（MCI プラス）血液検査が含まれています。
2）「一般健診」「人間ドック」「脳ドック」のオプションとして上記血液検査を行う事ができます。

医療法人財団 立川中央病院 附属 健康クリニック